

「あるがまま、なるがまま」に、自然体で向き合いたい

11月初めにある研修会の講師を依頼されていたので、日が迫っての急な辞退だと迷惑をかけると思い、講師に推薦・紹介いただいた先生と、研修会企画の担当者に次のようなメールを送信した。

【 急ですが、結論から言えば、11月1日の講師担当、辞退させてください。】

というのも、痰に鮮血が混ざるのが続いていたので8/30に病院へ行ったところ、どうも肺がんの疑いがあるようで、9月一杯かかって色々精密検査をします。

その後、治療にかかるとのことですが、その治療がどういうものになるか、今のところ分かりません。

そこで、治療法次第では11月1日は無理になることも予想されますので、10月に入ってから講師交代を申し出ては担当の〇〇君に迷惑をかけると思い、早い内に申し出た方が次の講師の方を探すのにいいかなと思いました。

突然のことで申し訳ないですが、講師辞退をご理解、ご容赦ください。】

企画担当者から、早速、了承の返信をいただいた。

また、推薦いただいた先生からも、早速、ご理解のメールをいただいたので、先生にお礼方々、次のように返信した。

【 まあ、こういう日が来ることを覚悟の上で長年喫煙していたので、気持ちはいたって平静です。】

初診日のX線、CTスキャンでも僕の素人目にもはっきり何かがあると分かる影。

血液検査でも、ガン細胞関係の数値が明らかに高い。

「肺がんの症状でしょうか？」と話し易いように振ったのですが、やはり医師は「まだ、ガンだかどうか分からないから、精密検査を！」と言いますので検査は受けませんが、「違うかもしれない」などと検査結果に期待したりしていません。

振り返れば、先生を始め、友人、仕事、家族にも恵まれてこの歳までこれたので、「もうこれでもいいのでは」と思っています。

まあ日頃から「あるがまま、なるがまま」と言っていますので、自然体で向き合いたいと思っています。】